

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	はしご車を使用した火災救出訓練での要救助者(ダミー人形)落下危険事案
3. 体験した事例の中心的要素	火災想定訓練で、はしご車を使用して塔上から要救助者(ダミー人形)を救出中、バスケット隊員が『救出始め』と自己確認呼称しながらバスケットに要救助者の収容を始めたところ、基部操作隊員は自分への下命だと勘違いして梯体を動かしてしまった。要救助者へ安全帯を着装していたため落下はしなかったが、バスケットへ収容できず宙吊りになった。
4. 体験した事例の原因・理由	・バスケット隊員の自己確認呼称を基部操作隊員が自分への下命と勘違いした。 ・救出作業時における緊急停止ボタンの不使用。 ・基部操作隊員から見にくい場所での救出作業であった。

【体験した事例の直接的原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	情報入力に問題があった。(指示や助言が聞こえなかった。近くの隊員に気付かなかった等)
------------------	--

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成28年1月10日 午前10時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外:訓練場(訓練塔)
4. 体験した事例の種類	回答者が、他人を負傷させそうになった。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	重傷の怪我をしていた(させていた)だろう
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	墜落・転落
7. 事例体験時の活動	演習訓練、[火災]
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	その他:はしご車を使用した救出中
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

● ●

○当事者A	年齢[39]歳、勤続年数[20]年、現場経験年数[20] 年、階級[消防司令補] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [隊員]
○当事者B	年齢[32]歳、勤続年数[8]年、現場経験年数[8] 年、階級[消防副士長] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [機関員]
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[] 年、階級[] 同様の活動 []、任務 []
○その他(当事者が4人以上の場合)	

[illegible]

	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	はしご隊	塔上の要救助者(ダミー人形)救出のため活動開始。	
経過2	バスケット隊員	要救助者救出場所へバスケットを移動	
経過3	バスケット隊員	『救出始め』と自己確認呼称	
経過4	バスケット隊員	要救助者へ安全帯を着装し、バスケット収容開始	
経過5	基部操作隊員	『救出始め』を自分への下命と勘違いし、バスケットを塔から離す操作を始める。	
経過6	バスケット隊員	基部操作員へ『停止』の指示をする	
経過7		停止が間に合わず要救助者が落下しそうになった。	
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

[illegible]

○事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

たまたま、事故にならなかった

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	はい

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	はい
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	はい
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

--

○装備・資機材の対策について

--

○活動環境の対策について

--

○指揮・情報伝達の対策について

--

ヒヤリハット事例集

はしご車を使用した火災救出訓練での要救助者（ダミー人形）落下危険事案

